

MDS 初発・進行期 Azacitidine療法

患者ID : @PATIENTID コース目

患者氏名 : @PATIENTNAME 1コース : 28日間 目標 : 18コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

使用薬剤 : アザシチジン : アザシチジン注 100mg/V

※ 用時調製、調製から1時間以内に投与終了のこと。懸濁液は冷蔵 (2~8℃で8時間保存可、冷蔵後は30分以内に使用すること)

※ 皮下注は注射用水4mLによる懸濁液、点滴静注は注射用水10mLで溶解後必要量を抜き取り生理食塩液50mLに混合する。

※ 投与日はday1~7連続がデフォルトであるが、土日を飛ばしたday1~5、8~9も可

開始前のチェック事項

WBC \geq 3000、Neut \geq 1500、PLT \geq 7.5万 → A、いずれかを満たさなければ → B

A=Nadirでの各血球数と回復までに要する期間に応じて、100%/50%用量で継続

B=Nadirでの各血球数と回復までに要する期間に応じて、骨髄穿刺など必要な検査を行った上で、100%/50%/33%用量で継続

開始後のチェック事項

静脈血血清重炭酸塩 $<$ 20mEq/L、またはBUN・Crn値の上昇 → 50%用量に減量

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
アザシチジン	75 mg/m ²	#VALUE!		1~7

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1) ; 1月1日 (金)

0時00分	①	生理食塩液 50mL	+	グラニセトロン 1 A		
		15分で点滴静注				
0時15分	②	生理食塩液 50mL	+	アザシチジン注	0mg	+ 注射用水10mL (溶解用)
		10分で点滴静注				
		または 注射用水 4mL	+	アザシチジン注	0mg	
		皮下注				
	③	生理食塩液 50mL				
		フラッシュ (点滴静注の場合)				

Day2以降も同様に行う

REFERENCE

Pierre Fenau, Ghulam J Mufti, Eva Hellstrom-Lindberg, et al. Lancet Oncol. 2009;10:223-232
Efficacy of azacitidine compared with that of conventional care regimens in the treatment of higher-risk myelodysplastic syndromes: a randomised, open-label, phase III study

2011年6月度化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2011年6月6日 更新: 2016年2月8日